

# La follia della musica

～音楽のかたち～

2022年9月14日(水)

17:30開場/18:00開演

洗足学園音楽大学 前田ホール

ご来場のお客様へご協力をお願い

次項につきまして下記のとおりにご了承くださるようお願いいたします。

①新型コロナウイルス感染症対策につきまして

②公演収録に伴う一部のお客様の映り込みにつきまして

①新型コロナウイルス感染症対策につきまして

◎入場制限について(次に該当する方はご入場いただけません)・37.5℃以上の発熱がある方、発熱が続いている方・風邪の症状(発熱、咳、くしゃみ、喉の痛み等)がある方・強いだるさ(全身倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある方・その他体調に不安がある方(味覚・嗅覚障害、目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節痛、下痢、吐き気等)・新型コロナウイルス感染症陽性とされた方との濃厚接触があり、行動制限中となっている方。・政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への訪問歴及び当該在住者との濃厚接触があり、行動制限中となっている方。＊基礎疾患(糖尿病・心不全・呼吸器疾患等)がある方、妊娠中の方は、医師の判断や関係機関の情報を確認の上、慎重なご判断をお願いします。

◎ご入場に際し、以下の事項についてご協力をお願いします。

・上記「入場制限について」への同意・感染者が発生した場合には、必要に応じてご来場者情報を保健所へ提供させていただく場合がございますので予めご了承ください。(提出いただいた個人情報(新型コロナウイルス感染症の発生がなかったことを確認の上、演奏会約三か月後に適切に削除します)・マスク着用の徹底(不織布マスクを推奨、鼻にフィットさせ正しく着用)やソーシャルディスタンスの確保などエチケットの厳守をお願いします。

・楽屋面会、花束やプレゼントの持ち込みはお控えください。・演奏者への声援はご遠慮いただき、拍手のみとしていただきますようお願いいたします。

◎車いすでご来場のお客様へ 車いすでご来場のお客様はチケット購入前に予めお問い合わせいただけますようお願いいたします。

②公演収録に伴う一部のお客様の映り込みにつきまして各公演では、映像収録および写真撮影用の機材が会場内に入り、ご来場のお客様の様子(映像・写真等に映りこむ場合がございます。収録された映像・写真等は、YouTubeやSNS、ウェブサイト、テレビ、印刷・出版物等において、大学案内等のプロモーションやその他の目的で使用される可能性があります)がございますので、予めご了承下さい。

主催：洗足学園音楽大学・大学院

## ごあいさつ

ご来場の皆様へ、本日は学内リサイタル講座ジョイントリサイタルへようこそ。本日演奏する学生は、この前田ホールで独奏を経験する事の出来る少ないチャンスを得られた48名の学生です。これまで4年間の研究生生活で、切磋琢磨して磨き上げたその成果をお聴きいただき、これから日本そしてアジア、世界へ羽ばたこうとする若人へ拍手とマスクで声は出せませんが心の中から声援を送って下さい。

洗足学園音楽大学 教授 渡部 亨  
教授 大和田雅洋

本日は「La forma della musica ~音楽のかたち~」にご来場いただき、誠にありがとうございます。今回のジョイントリサイタルを開催するにあたりグループで協力し準備してきました。本日のプログラムはタイトルにもある通りメンバーそれぞれの音楽のかたちが表現できるように構成いたしました。どうぞ最後までごゆっくりご鑑賞ください。最後になりましたが、いつもお世話になっている先生方スタッフの皆様へ感謝申し上げます。あいつとさせていただきます。

インスペクター 梅崎真綾

# Program

## 1. Piano 吹上 萌

C.グノー=F.リスト/歌劇「ファウスト」のワルツ  
(1811-86)◎ハンガリー

## 2. Clarinet 磯崎 優香 pf.鈴木由紀子

R.シューマン/3つのロマンス 作品94  
第1曲 *Nicht schnell*  
第2曲 *Einfach innig*  
第3曲 *Nicht schnell*  
(1810-56)◎ドイツ

## 3. Trumpet 江原春香 pf.小松祥子

E. エワイゼン/トランペット・ソナタ  
第2楽章 *Allegretto*  
第3楽章 *Allegro con Fuoco*  
(b.1954)◎アメリカ

## 4. Saxophone 兼田 柊子 pf.原田愛

J.ブラームス/クラリネット・ソナタ第2番より  
第1楽章 *Allegro amabile*  
第3楽章 *Andante con moto*  
(1833-97)◎ドイツ

## 5. Marimba 中田実紅

C.Z.マリアン/レムリア  
(b.1983)◎ハンガリー

## 6. Flute 梅崎真綾 pf.渡部有子

S.プロコフィエフ/フルート・ソナタ 二長調  
第1楽章 *Moderato*  
第4楽章 *Allegro con brio*  
(1891-1953)◎ロシア

## 7. Tuba 渡部 陽菜 pf.西川真衣

R.シューマン/幻想小曲集 作品73  
第1曲 *Zart und mit Ausdruck*  
第2曲 *Lebhaft, leicht*  
第3曲 *Rasch und mit Feuer*  
(1810-56)◎ドイツ

## 8. Soprano 行場結佳 pf.牧田成永

O.レスピーギ/ストルネッロを歌う女  
(1879-1936)◎イタリア  
O.レスピーギ/最後の陶酔  
(1879-1936)◎イタリア  
G.ドニゼッティ/歌劇《シャモニーのリング》より  
おこの心の光  
(1797-1848)◎イタリア

## ～曲目解説・出演者プロフィール～

### 1. Piano 吹上 萌



#### 【プロフィール】

長野県出身。3歳からピアノを始め、大森晶子氏に師事。信濃毎日新聞主催、第27回長野県ピアノコンクール5・6年生の部最優秀賞受賞。第32回長野県ピアノコンクール高校生部の最優秀賞受賞。  
その他数々のコンクール入選、入賞。交流の響き2018inかわさきに長野県代表で出演。第21回ワープル・インターナショナル・ピアノウィークに参加。  
2017ピアノフォーラムin仙台に参加。  
これまでに、ディアナ・アンデルセン、アラン・ヴァイス、ヨハン・シュミット、小林仁、菅野潤、庄司美智子、秦はるひ各氏のレッスンを受ける。  
洗足学園音楽大学、ピアノ・プロフェッショナル・パフォーマンス4年次在学中。  
現在、浦壁信二、日置寿美子各氏に師事。

### C.グノー=F.リスト/歌劇「ファウスト」のワルツ

Gounod=Liszt//Valse de l'opéra Faust

フランツ・リストは、ハンガリー王国出身で現在のドイツやオーストリアなど、ヨーロッパ各地で活動したピアニスト、作曲家である。ピアノの魔術師と呼ばれたリストは、天才的な技術で奏する情熱的かつ繊細な演奏と美貌で一気にピアニストとしての名声を得たとされている。数々の曲を作曲したリストだが、他の作曲家の作品を編曲し広く世に知らしめた作曲家でもある。  
今日演奏するファウストのワルツも、シャルル・グノー作曲のオペラ「ファウスト」を編曲した曲である。シャルル・グノーが1858年頃に完成させた歌劇「ファウスト」は、青春を取り戻すため死後の魂を悪魔メフィストフェレスに渡す約束をした老学者の物語であり、第2幕で群衆が合唱する有名なワルツがリストによってほぼそのみピアノに編曲されており、華やかな雰囲気のみごとくに再現されている。

## 2. Clarinet 磯崎優香 pf.鈴木由紀子



### R.シューマン／3つのロマンス 作品94

R. Schumann // *Trois Romances Op. 94*

第1曲 *Nicht schnell*

第2曲 *Einfach innig*

第3曲 *Nicht schnell*

全3曲からなるこの作品は、ドイツの作曲家、シューマンが1849年に作曲したオーボエとピアノのための作品である。

原曲はオーボエのために書かれた作品だが、その親しみやすい旋律や音楽的な魅力から、他の楽器でも重要なレパートリーとして演奏されている。

オーボエの名手ハインツ・ホリガーが「ロマン派全体を見渡しても最も重要なオーボエ作品」と評したこの作品は、妻クララへのクリスマス・プレゼントとして作曲したと伝えられている。

第1曲 *Nicht schnell* (速くならないで)、哀愁に満ちた幻想的な雰囲気構成されている。第2曲 *Einfach innig* (素朴に、内的に)、柔らかく暖かい旋律で始まり、中間部で短調に変わり不安げな表情を見せる三部形式。第3曲 *Nicht schnell* (速くならないで)、寂しげな旋律に続き、それとは対照的な雰囲気の旋律が交互に現れる物語性格をもった曲である。譜面のシンプルさとは裏腹に、その奥深さは計り知れず、クララへの奥深い思いが感じられる作品である。

#### 【プロフィール】

茨城県出身。茨城県立水戸第3高等学校音楽科卒業。現在、洗足学園音楽大学4年次在学中。クラリネットを星野均、室内楽を山根公男、伊藤寛隆の各氏に師事。

## 3. Trumpet 江原春香 pf.小松祥子



### E. Ewazen / トランペット・ソナタ

E. Ewazen (b. 1954) // *Sonata for Trumpet and Piano*

第2楽章 *Allegretto*

第3楽章 *Allegro con Fuoco*

エワイゼンは、アメリカ出身の作曲家でさまざまなジャンルの曲を書いている。特に金管楽器のための作品が好まれている。

第1楽章、*Lento-Allegro Molto*、ゆったりとした序奏の後に水が流れ込むように激しく主題がさまざまな形に展開されながら曲が進んでゆく。第2楽章、*Allegretto*、3/8拍子でゆったりと浮遊しながら主題が進んでいき、展開部で2/4拍子に移り変わり意思がはっきりしていく。再現部では主題が戻ってくるが、動きが増え前向きなまま第3楽章に向かっていく。第3楽章、*Allegro Con Fuoco*、

切り込むようなインパクトのある冒頭から始まる。時折でてくる優しい旋律と、それをかき消すような激しい旋律が交互に出てくることで、だんだんと盛り上がり、終盤は変拍子によって、よりヒートアップし雪崩れ込むように曲が終わる。

本日は第2楽章、第3楽章のみの演奏となるが、曲本来の美しい響きと激しい水が常に流れているかのようなエネルギーある音楽をお届けしたい。

#### 【プロフィール】

茨城県出身。茨城県立境高等学校卒業。トランペットを宮田康雄、佛坂映千生、中山隆崇の各氏に師事。室内楽を古田賢司、橋本晋也、古田俊博、池上亘の各氏に師事。「前田記念奨学金」2021年度、2022年度の奨学生として選ばれる。「響け！ユーフォニアム」公式吹奏楽団「プロGRESSIV・ウィンドオーケストラ」準メンバー。

#### 4. Saxophone 兼田 柊子 pf. 原田 愛



##### J.ブラームス/クラリネット・ソナタ 第2番 より

J. Brahms // Clarinet Sonata No. 2 I, III

第1楽章 *Allegro amabile*

第3楽章 *Andante con moto*

この曲は19世紀ドイツの作曲家、ヨハネス・ブラームス(1833-97)が1894年に作曲したクラリネットとピアノの為のソナタである。1833年に産まれたブラームスは幼少期、コントラバス奏者の父から手ほどきを受け、ピアノを学ぶ。早くから楽才を示し、10歳でピアニストとしてデビュー。J.S.バッハ、ベートーヴェンと並びドイツ音楽における3大巨匠とも称され、あらゆる人物から賞賛されていた。クラリネット・ソナタ第2番はそんなブラームスの晩年にかかれた作品で、彼にとつて最後のソナタ作品でもある。

今回演奏するクラリネット・ソナタ第2番は3楽章構成になっており、本日は第1楽章と第2楽章を演奏する。第1楽章アレグロ・アマビレ。滑らかな第1主題と切れ切れに奏される第2主題は、「愛らしく」の意という指定にふさわしく、共に暖かい穏やかさを感じさせる。第3楽章アンダンテ・コン・モート。ブラームスが得意とした変奏曲形式による最後の作品でもある。抒情的な主題に、巧妙に構成された5つの変奏が続き終結部へと導く。今回はクラリネットとピアノのための作品をアルトサクソフォンとピアノでお送りする。

##### 【プロフィール】

岩手県久慈市出身。12歳からサクソフォーンを始める。現在洗足学園音楽大学4年在学中。

第7回Kサクソフォンコンクール第2位。

洗足学園音楽大学室内楽オーディション合格者による披露演奏会出演。日本サクソフォン協会主催、音大生によるサクソフォン四重奏の夕べ2022に出演。

これまでにサクソフォーンを貝沼拓実、原博巳、渡辺邦夫、小笠原雅久の各氏に、室内楽を貝沼拓実、江川良子、本堂誠の各氏に師事。

Alexandre Souillart、Nikita Zimin、須川展也の各氏のマスタークラスを受講。

#### 5. Marimba 中田 実紅



##### C.Z. マリアン/レムリア

Csaba Zoltán marján // Lemuria

チャバゾルターン・マリアンは、ハンガリーの打楽器奏者であり、作曲家である。この曲は、友人であるガボル・パロタスに捧げられた曲である。レムリアとは、架空の失われた大陸の名前として19世紀から使用されており、現在も様々な作家の映画や音楽に影響を与えている。大陸は、ずっと前に存在していたが地質学的変化の結果、海の下に沈んだとされている。文明全体を含むこの世界の崩壊を表現する為に、3つの主要な部分に分かれている。最初は穏やかな音楽だが、すぐにエネルギー溢れる音楽へと変わる。ダイナミックな変化によって起こる16分音符の絶え間ない脈動は、カデンツァに続いていく。その後に出てくる激しく熱狂的な部分は、その後のゆったりとした世界の終わりを迎える為に準備しているかのように感じられる。

##### 【プロフィール】

広島県出身。千葉県立千葉女子高等学校卒業。13歳より打楽器を始める。千葉女子高等学校オーケストラ部に所属し、2018年ヨーロッパツアーに参加。これまでにマリンバ、打楽器、室内楽を中村祐子氏に師事。2022年度洗足学園フルートオーケストラ前期演奏会に於いて、Emmanuel Sejourne作曲 *Concert for Marimba and Strings* のソリストを務める。

## 6. Flute 梅崎真綾 pf. 渡部有子



### S. プロコフィエフ／フルート・ソナタ 二長調

S. Prokofiev // Sonata No. 2

#### 第1楽章 Moderato

#### 第4楽章 Allegro con brio

セルゲイ・セルゲエヴィチ・プロコフィエフは、ロシアの作曲家。13歳でサンクトペテルブルク音楽院にて作曲・ピアノを学び、以降数多くの形式の音楽に遺作を残している。このフルートソナタは1943年に作曲された音楽作品である。初めはフルートとピアノのために作曲されており、後にヴァイオリンのために編曲されている。第二次世界大戦中にモスクワで初演されたものの、あまり評判にならずフルーティストたちの心には残らなかった。現代では重要なフルートレパートリーとなっている。第1楽章の冒頭に憂鬱な雰囲気を感じられるが、軽快な第2楽章に暖かい旋律の第3楽章、活力のある終楽章。戦時中だと思えない程エネルギーである。

#### 【プロフィール】

福岡県出身。12歳よりフルートを始める。精華女子高等学校卒業。これまでにフルートを荒川洋、ピッコロを菅原潤、室内楽を辻功に師事。

現在、洗足学園音楽大学4年次在学中。

## 7. Tuba 渡部陽菜 pf. 西川真衣



### R. シューマン／幻想小曲集 作品73

R. Schumann // Fantasiestücke op. 73

#### 第1曲 Zart und mit Ausdruck

#### 第2曲 Lebhaft, leicht

#### 第3曲 Rasch und mit Feuer

〈幻想小曲集 作品73〉はロベルト・シューマンが1849年に作曲したクラリネットとピアノのための室内楽曲である。

2月12日から13日にかけての短期間に作曲され、後にドレスデン宮廷楽団の首席奏者となるヨハン・コッテのクラリネット、クララ・シューマンのピアノで私的に初演された。第1曲、*Zart und mit Ausdruck* (静かに、感情を込めて)、静かでゆっくりとした主題が、3連符を奏するピアノの上で揺られる。主調はイ短調だがたびたびへ長調が顔を

覗かせ、2つの調が複雑に絡み合いながらイ長調の終止に向かう。第2曲、*Lebhaft, leicht* (活発に、軽やかに)、1曲目のピアノパートに暗示されていた主題が軽やかに奏される。中間部はへ長調で、半音階のスケールをモチーフとする。第3曲、*Rasch und mit Feuer* (急速に、燃えるように)、炎のような勢いのある終曲。勢いよく上昇するモチーフが度々現れ、たたみかけるように曲が進行していく。やがて1曲目、2曲目のものを含む過去のモチーフが絡み合い、華やかなフィナーレへと向かっていく。今回はクラリネットとピアノのための作品をチューバとピアノでお送りする。

#### 【プロフィール】

神奈川県出身。相模女子大学高等部卒業。洗足学園音楽大学4年次在学中。第28回ブルクハルト国際音楽コンクール、管楽器部門審査員賞。第41回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール、金管楽器大学生部門第5位を受賞。現在、演奏家、指導者として関東を中心に活動をしている。チューバを柳生和夫、室内楽を渡辺功、古田俊博、古田賢司、橋本晋也の各氏に師事。金管五重奏「Brass Quintet Blanche」メンバー。「響け！ユーフォニアム」公式吹奏楽団「プロGRESSIV・ウィンドオーケストラ」準メンバー。

## 8.Soprano 行場結佳 pf.牧田成永



### O.レスピーギ / ストルネッコを歌う女

Ottorino Respighi // *Stornellatrice*

### O.レスピーギ / 最後の陶酔

Ottorino Respighi // *L'ultima ebbrezza*

### G.ドニゼッティ / 歌劇《シャモニーのリンダ》より

G.Donizetti // *Linda di chamounix*

おおこの心の光 *O luce di quest'anima*

#### O.レスピーギ / ストルネッコを歌う女

Ottorino Respighi // *Stornellatrice*

〈ストルネッコを歌う女〉は1906年に作曲された。ストルネッコとはイタリアの短い民謡の一形式で、中に必ず花が詠み込まれている。詩はC.ザンガリーニ、A.ドニーニが書いた。両者ともレスピーギと同時代に生きた詩人である。伴奏は和音のアルペジオというシンプルな形であるが、歌の旋律を引き立たせ、まるで詩を朗読しているかのような印象を与える。詩はストルネッコの部分と歌っている女のつぶやきになっている部分に分かれる。「歌うことが私に何の役に立つのか」「歌うことが私に何の価値があるのか」という言葉に私自身の歌に対する想いを込めて表現したい。

#### O.レスピーギ / 最後の陶酔

Ottorino Respighi // *L'ultima ebbrezza*

〈最後の陶酔〉はレスピーギの最初の歌曲作品とされ、1896年に作曲された。ボローニャの音楽院で作曲を勉強し始めたころの初期の作品である。若々しいエネルギーを感じるとともに、言葉のもつ色に合わせた調性の変化がとても美しい曲である。

#### G.ドニゼッティ / 歌劇《シャモニーのリンダ》より

G.Donizetti // *Linda di chamounix*

おおこの心の光 *O luce di quest'anima*

ドニゼッティはロマン派のイタリアオペラ代表的作曲家。美しい旋律と華やかな装飾をつける作風が特徴である。《シャモニーのリンダ》は1842年にウィーンで初演された。〈おおこの心の光〉はリンダの登場シーンで歌われ、純真な少女の姿、恋へのときめきが軽やかな旋律で描かれている。愛する心と希望にあふれた音楽を届けたい。

#### 【プロフィール】

北海道出身。自由学園女子部高等科卒業。声楽を白川佳子氏に師事。第20回洗足学園ジュニア音楽コンクール声楽部門奨励賞受賞。2020年度、2021年度声楽コース特別選抜生に選出される。

O.レスピーギ / ストルネロを歌う女

Che mi giova cantar: "Fior di betulla:  
vorrei tu fossi il sole ed io la stella,  
e andar pel cielo e non pensar a nulla!"  
quando poi l'eco mi risponde: nulla?

歌うことが私に何の役に立つのか「白樺の花、  
あなたが太陽に、私が星になればいいのに、  
そして大空を巡り、何も考えないように！」  
そうするとこだまが答える、何も？と。

Che mi vale cantar: "Fiore dei fiori:  
tu sei l'amore mio d'oggi e di ieri:  
tu sei l'amore mio che mai non muori!"  
quando poi l'eco mi risponde: muori?

歌うことが私に何の価値があるのか「花の中の花、  
あなたは今日きのうの私の愛、  
決して死ぬことのない私の愛！」  
そうするとこだまが答える、死ぬ？と。

(詩：C.ザンガリーニ、A.ドニーニ)

O.レスピーギ / 最後の陶酔

Un ultimo profumo inebriante versa,  
magico fiore intorno a me:  
spandi un ultimo raggio a me dinante  
astro di luce che mortal non è!...

うっとりさせせる最後の香りを注いでおくれ  
魔法の花よ、私の周りに  
最後の光を私の前に放つ  
それは消えることのないきらめく星！...

O melodia sublime, indefinita,  
un'ultima tua nota io voglio udire,  
che m'eccheggia nell'anima rapita  
come ardente cadenza di sospir!...

おお なんという崇高なメロディー  
私はお前の最後の音が聴きたい  
恍惚とした私の心になんとこだますることか  
ため息の熱い流れのように！...

Un guardo ancor degli occhi tuoi possenti  
un sorriso, un accento, un bacio ancor!  
Dammi l'ultima ebbrezza che m'annienti  
nel fremito supremo dell'amor!...

あなたの力強いまなざしをもう一度  
微笑み、言葉、口づけをもう一度！  
私を無にする最後の陶酔を与えておくれ  
愛の崇高な震えの中に！...

(詩：アダ・ネグリ)

G.ドニゼッティ / 歌劇《シャモニーのリンダ》より おおこの心の光

あらすじ

貧しい家庭の娘リンダは画家のカルロと恋人同士。領主であるボアフレリー侯爵はリンダをものにしようと企んでおり、それを知ったリンダは家を出てパリに行くこととなる。リンダを追いかけパリに向かうカルロ。実はカルロはシルヴァーノ伯爵で、リンダを援助し一緒に暮らすことにする。しかしカルロの母は身分違いの恋を許さず、違う相手と結婚するよう迫る。その知らせを聞き、絶望するリンダ。さらにリンダが貴族の愛人になったと勘違いした父は激怒し、リンダを勘当してしまう。あまりのショックにリンダは気が狂ってしまう。リンダはシャモニーに戻るが、半狂乱状態。母親を説得したカルロが再び愛を告白し、リンダは正気に戻る。二人はめでたく結婚する。

Ah! tardai troppo, e al nostro  
favorito convegno io non trovai  
il mio diletto Carlo... e chi sa mai  
quant'egli avrà sofferto!...  
ma non al par di me. Pegno d'amore  
questi fior mi lasciò! Tenero core!  
E per quel core io l'amo,  
unico di lui bene.  
Poveri entrambi siamo,  
Viviam d'amor, di speme:  
pittore ignoto ancora  
egli s'innalzerà co' suoi talenti!  
Sarò sua sposa allora... Oh noi contenti!  
O luce di quest'anima  
delizia, amore e vita,  
la nostra sorte unita  
in terra, in ciel sarà.  
Deh vieni a me, riposati  
su questo cor che t'ama,  
che te sospira e brama,  
che per te sol vivrà.

ああ！遅すぎるわ、  
お気に入りの待ち合わせ場所に  
大好きなカルロがいないなんて…  
彼の苦しみをだれが知っているでしょう！  
でも私ほどではないわ。愛の証よ、  
私にくれたこの花！なんて優しい心！  
その心のために彼を愛すわ、  
たった一人の愛しい彼を。  
私たちはかわいそう、  
愛と希望に生きているのに  
彼はまだ無名の画家だけど  
出世するでしょう、あの才能があれば！  
そうして私は彼の花嫁に…ああなんて幸せ！  
おおこの心の光よ  
愛と人生の喜びよ、  
私たちの運命は  
天と地で結ばれているわ。  
さあ来て、私のもとで休みに  
あなたを愛するこの胸の上で、  
あなたに恋焦がれ、切望し  
あなたのためだけに生きるのです。